

財務 R4 共有データの [当期→翌期残高更新] により発生する障害対応版 Ver. 20.11 の発行

ご利用中の財務R4 Ver.20.10以降のバージョンで、共有中の会社データを、[当期→翌期残高更新] を実行した場合に、下記の2つの障害が発生することが確認されました。

つきましては、障害の内容、回避策、およびプログラム対応日程につきまして、下記のとおりご連絡申し上げます。

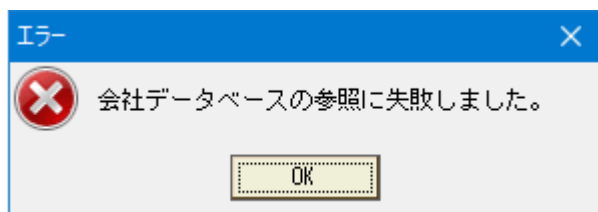
お客様にご迷惑をお掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

- ・ 本障害は財務 R4 Ver. 20.10 で、Wepplat データ共有している会社データを [当期→翌期残高更新] した場合に発生します。データ共有されていない会社データでは発生しません。
- ・ 共有データを [当期→翌期残高更新] されている場合、下記の【障害2】が気付かずに起きている可能性があります。

1. 障害 1 の内容と回避方法

1-1. 現象

[当期→翌期残高更新] 実行後に、翌期の会社データを開くと「会社データベースの参照に失敗しました」のエラーが発生します。



共有中の会社データでエラーになってしまうため、共有データが「使用中」の状態のままになってしまう。

1-2. 発生条件

次の会社データを例に、障害が発生する操作を説明します。

繰越済の会社データを [当期会社]、繰り越された翌期会社データを [翌期会社] として説明します。

	状態	コード	会社名	期首年月日	期末年月日
[翌期会社] →	共	xxxxx	サンプル株式会社	令和 2. 4. 1	令和 3. 3. 31
[当期会社] →	共	繰越済	サンプル株式会社	平成31. 4. 1	令和 2. 3. 31

上記の会社で次の操作を行った場合に発生します。

会計事務所側	顧問先側（共有先）
<p>①[当期会社]を開き [当期→翌期残高更新] を実行 ↓ ②財務R4を終了 ↓ ③財務R4を起動して最初に開いた会社が[翌期会社]の場合 ↓ ④「会社データベースの参照に失敗しました」のエラー発生 共有データが「使用中」の状態のままになってしまう</p>	<p>※会計事務所側で [当期→翌期残高更新] 実行された後に次の操作を行うと発生します。 ①財務R4を起動して最初に開いた会社が[翌期会社]の場合 ↓ ②「会社データベースの参照に失敗しました」のエラー発生 共有データが「使用中」の状態のままになってしまう</p>
<p>発生条件</p> <p>[当期→翌期残高更新] した翌期会社を開かずに財務R4を終了し、次に財務R4を起動して、最初に開くのが[翌期会社]の場合に発生します。 (財務R4起動後に、[翌期会社]以外の会社データを一度開いた後に、[翌期会社]を開いた場合には発生しません。)</p>	<p>発生条件</p> <p>残高更新した翌期の会社データを開かずに財務R4を終了し、次に財務R4を起動したときに、最初に開く会社データが[翌期会社]の場合に発生します。</p>

※上記の会計事務所と顧問先が逆のケースでも同様の障害が発生します。

1-3. 回避方法

本障害が原因で、「会社データベースの参照に失敗しました」のエラーが発生している場合には、次の方法で回避をお願いします。

「会社データベースの参照に失敗しました」エラーが発生すると、共有データを使用していないのに「使用中」の状態になってしまいます。

次のFAQをご参照頂き、「使用中」の状態を解除してください。

FAQ : https://faq.r4support.epson.jp/app/answers/detail/a_id/290#q1

「使用中」を解除後に次の操作を行ってください。

- ①[翌期会社]を開かず、別の会社データ（[当期会社]など）を開きます
- ②開いた別の会社データを閉じ会社選択画面に戻ります
- ③[翌期会社]を開きます。

※上記の回避をした会社データは次の障害2が発生している可能性があります。障害2の回避方法である[保守メニュー] → [各マスターの再生] の実行をお願いします。

2. 障害 2 の内容と回避方法

2-1. 現象

〔当期→翌期残高更新〕を実行した翌期データで、仕訳からの残高集計が正しく行われていない場合があります。

※現象が発生している場合、残高が間違った金額で表示されます。(試算表等)

2-2. 発生条件

障害 1 と同じく次の会社データを例に、障害が発生する操作を説明します。

繰越済の会社データを〔当期会社〕、繰り越された翌期会社データを〔翌期会社〕として説明します。

	状態	コード	会社名	期首年月日	期末年月日
〔翌期会社〕 →	共	xxxxx	サンプル株式会社	令和 2. 4. 1	令和 3. 3. 31
〔当期会社〕 →	共	繰越済 xxxxx	サンプル株式会社	平成31. 4. 1	令和 2. 3. 31

会計事務所側	顧問先側（共有先）
<p>■ケース 1</p> <p>①当期会社を開き〔当期→翌期残高更新〕を実行 ↓</p> <p>②そのまま〔翌期会社〕を開いた場合に発生</p> <p>■ケース 2</p> <p>①当期会社を開き〔当期→翌期残高更新〕を実行 ↓</p> <p>②財務を終了する ↓</p> <p>③財務R4を起動して〔当期会社〕等（翌期会社以外）を開いた後に会社選択に戻る ↓</p> <p>④〔翌期会社〕を開いた場合</p>	<p>※会計事務所側で〔当期→翌期残高更新〕実行された後に次の操作を行うと発生します。</p> <p>①財務R4を起動して〔当期会社〕等（翌期会社以外）を開いた後に会社選択に戻る ↓</p> <p>②〔翌期会社〕を開いた場合</p>
<p>発生条件</p> <p>■ケース1 財務R4を終了せずに翌期会社を選択した場合</p> <p>■ケース 2 財務R4を終了して再度起動した後、〔翌期会社〕以外を開いた後、会社選択に戻り〔翌期会社〕を開いた場合</p>	<p>発生条件</p> <p>残高更新した〔翌期会社〕を開かずに財務R4を終了し、次に財務R4を起動したときに、最初に開く会社データが〔翌期会社〕の場合に発生します。</p>

※上記の会計事務所と顧問先が逆のケースでも同様の障害が発生します。

2-3. 回避方法

財務 R4 の〔保守メニュー〕 → 〔各マスターの再生〕 を実行して回避をお願いします。

3. 発行プログラム

本障害に対応した次のプログラムを発行します。

なお、既に障害 2 の現象が発生してしまった会社データは、障害 2 の回避方法にある [保守メニュー] → [各マスターの再生] の実行が必要となります。お手数ですがご対応お願い致します。

本回避対応は次回改版(20.15)に含まれます。(8月下旬予定)

システムにより提供方法が異なります。提供方法は、4. をご参照ください。

システム名	リリースバージョン	バージョンアップ対象
財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic 財務応援 R4 Premium (*1) 財務応援 R4 Lite+ (*1) 財務応援 R4 Lite (*1) 財務応援 R4 Lite for IKX (*1) Weplat 財務応援 R4 工事台帳 (*1) Weplat製品も対象です	20.11	19.20以降

4. リリース時期と提供方法

■E i ボードダウンロードマネージャーの公開

2020年7月7日(火)

提供するシステムは以下の5システムです。

システム名
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic 財務応援 R4 Premium (*1) 財務応援 R4 Lite+ (*1) (*1) Weplat製品も対象です

■マイページのダウンロード公開

2020年7月7日(火)

システム名
全ラインナップ

※CDオプション契約加入のお客様向けのCD送付はございません。

以上、よろしくお願いたします。